

### 人権感覚に欠けた新たな外国人在留資格

#### ◆48日間の臨時国会が始まります

24日から始まる臨時国会で、安倍内閣は新たな外国人「在留資格」を設ける法案を提出します。政府はこれまでも「日本の技術を学んでもらう」等の理屈で「技能実習生」制度を作り、外国人労働者を受け入れてきました。これは「移民を受け入れたくない」政府が、「労働力は欲しい」業界にいい顔をした制度です。しかし、過酷労働から除染作業までブラックな実態が多々指摘されてきたにもかかわらず、今度は、「深刻な人手不足」を理由に急ごしらえで新たな枠組みを準備中です。

阿部知子は18日に法務省から説明を受けましたが、外国人を特定技能1号と2号に分けて技能の違いで家族を連れて来られるかどうかを差別する人権感覚に欠けた枠組み案です。日本人でも外国人でも「労働力」の使い捨ては許せません。今国会で阿部知子は厚生労働委員会と原子力問題調査特別委員会に所属し、こうした問題にも取組みます。

#### ◆原子力規制委に安全確保の要請

議員連盟「原発ゼロの会」は原子力規制委員会に、「原発再稼働をめぐる『無責任構造』からの脱却を求め」提言を10月2日に行いました。

9月下旬に広島高裁と大分地裁で相次いで伊方原発3号機（愛媛県）の運転差止判断が却下とされました。また原子力規制委は、東海第二原発（茨城県）は新規規制基準に適合していると判断。

しかし、これは周辺住民の安全確保を要件としない法律が未整備のままの無責任構造を前提とした決定です。

そこで、原子力規制委が避難計画を含めて認定する仕組みの法定化や、自治体や住民の合意の義務付けを行うよう求めました。規制庁は「国会で議論をしていただくこと」と逃げましたが、逆です。これらは国会が原子力規制委を設置する法律を通した時に、附帯決議で政府に求めた宿題です。それを放置し続けているの再稼働なのです。

#### ◆原子力防災は絵に描いた餅より酷い

豪雨被害や震災が全国で頻発する中、中央構造線上に沿って細長く伸びる佐多岬半島の付け根にある伊方原発では、住民には逃げ場がありません。原子力防災は絵にすら描かれていません。



伊方原発の周辺30キロ圏内では、計14放射線防護施設の12施設が「土砂災害警戒区域」、「土砂災害特別警戒区域」、「津波浸水想定区域」のいずれかまたは両方に立地している、と強調する阿部知子。



衆議院議員あべともこ  
プロフィール

神奈川12区（藤沢市・寒川町）  
当選7回、東京大学医学部卒業、  
小児科医、あべともこどもクリニック（湘南台）理事長  
現在、内閣委員会筆頭理事・予算委員会委員



あべともこ  
公式Twitter  
@abe\_tomoko

[https://twitter.com/abe\\_tomoko](https://twitter.com/abe_tomoko)



あべともこ事務所  
公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索

あべともこと共に歩む会後援会入会のご案内及びボランティアスタッフ募集中！

特定の企業や団体などに依存しないあべともこの活動は、後援会の年会費やカンパによって支えられています。あべともこの活動にご支援頂ける方は、お気軽に事務所にお問い合わせください。

立憲民主党神奈川県連  
〒231-0012

横浜市中区相生町 4-69-4F

TEL 045-228-8591

FAX 045-228-8592